

第85回 令和7年9月14日（日）

**本日は文化祭2日目です。大いに楽しんでください。9月としては過去にない記録的な暑さになりそうです。室内も屋外も熱中症に気をつけて、水分補給をしてください。野球部は私学を倒したと報告を受けました。次は横浜と第1ラウンドですね！思い切りぶつかってください！**

今日は「ないものはない」という話です。

私が小学生のころ携帯電話はありませんでした。だから基本的に毎日友達と集合します。そこにいない友人はなにかしら用があって今日は欠席ということです。

集まった人数や使える広場によって今日は何をして遊ぶかを決めます。誰かがバットを持ってきたらそれを使うし、なければ代替できる棒を探します。それもなければハンドベースといって手で打ちました。

誰もボールを持ってきていないときは探します。畑や茂みなど、ボールがよく落ちている場所があります。それでも見つからない場合は駄菓子屋でゴムボールを買うとか、最終手段は紙を丸めました。

2人でも野球はできましたが、気分によって遊び方は変わります。沼に探検に行くことや、自転車で遠出をすることもありました。当時は世田谷に住んでいたのですが、川崎あたりまで行きました。冒険は大好きでした。

人数を集めたいときは電話などせずに、友達の家の前で「〇〇くん、あそぼ」と大きな声で呼びます。お母さんが出てきて「今日は熱があるの。ごめんね」と言ってお菓子をくれることもありました。真冬でも薄着で遊んでいましたが、基本的に風邪は病気のうちに入りませんでした。さすがに熱が出たら静かにしましたが。

近所に少年野球のチームがあってそこで野球を本格的にしている友達もいましたが、私は入りませんでした。そこに入ったら野球しかできません。遊びはその日にやりたいことを好きなようにやるのが一番です。好きな野球が習い事になるのは嫌でした。

そんな性格なのでピアノ、習字、そろばん、剣道、スポーツクラブと習い事はまったく長続きしませんでした。それでも「辞めてもいいよ」といろいろなことに挑戦させてくれた母親には本当に感謝しています。自分に向いていないとわかることが大きな発見でした。

中学の部活動でバスケットに出会うまで、遊ぶことが一番の人生勉強だった気がします。いまほど便利ではなかったことが探究につながっていたのかもしれませんが。スマホ世代の小学生にこの体験はできません。私の財産だと思っています。